金沢文圃閣

全1巻＋別冊　揃価格　同時1アクセス（本体）￥37,290
商品コード　1032952738

● 表示価格は税抜きです。

2025年6月

● 推薦文

外地からの祖国復興
「晋風」という名の禁断の書物

池谷 薫

（いけや かおる／映画監督、甲南女子大学教授）

私が監督した「蟻の兵隊」は、ポツダム宣言受諾後も上官の命令に従い、蟻のように黙々と戦い続けた山西省残留日本兵の悲劇を描いた。残留将兵2,600人。敗戦後の戦死者550人。不条理な戦闘の背景には、将兵の知らぬ間に「現地除隊」の措置がとられるなど、軍幹部による巧妙なアリバイ工作があった。

このたび、石川巧立教大教授の功績により、残留日本人のあいだで広く読まれた総合文芸雑誌「晋風」が発見され、その復刻版が刊行された。不思議なことに、この雑誌は日本国内の資料保存機関のどこにも所蔵されていないという。これを読んで驚いた。何気ない文章のそこかしこに、残留を正当化する〈罠〉が仕組まれているではないか。論文から随筆、小説まで、残留日本人たちはこの雑誌を読むたびに、現実には到底あり得ない、外地からの〈祖国復興〉に思いを馳せたことだろう。「晋風」という名の禁断の書物。その実体は、大勢の「蟻の兵隊」を生み出した、恐るべき「文化工作」だったのである。

□

編集と発行は、日本軍の残留者を募って再編成した「特務団」および「特務団」の意向に沿って社会教育活動を担う組織として発足した山西保安隊総司令部文化部が担っており、編集の中心は長野賢。

戦時下の日本語文芸同人雑誌『燕京文学』を牽引し、
野中修、朝倉康といったペンネームを使い分けながら
小説、評論、翻訳などを発表し続けた長野賢が、
閻錫山率いる山西軍の戦略を残留日本人に浸透させ、
教育や文化活動の側面から宣伝工作を進めるために、
彼が『晋風』においてどのような編集方針を取ったのか
また、長野賢がこの雑誌を出し続けることができた背景には
『燕京文学』時代からの交友関係や人脈が活かされていると推察され
大東亜の理想を掲げた思想が外地において
どのように温存され、戦後に引き継がれているかを考える手がかりにもなる。

『読売新聞』（2020年5月20日）に記事が掲載されましたので、この機会にご覧ください。

書名	冊子版ISBN	同時 1アクセス（本体）	同時 3アクセス（本体）	商品コード
■晋風（綜合文化雑誌）―「蟻の兵隊」たちのコミュニティ雑誌― 全1巻・別冊		¥37,290	¥55,935	1032952738
晋風（綜合文化雑誌）―「蟻の兵隊」たちのコミュニティ雑誌―	9784909680792	¥33,880	¥50,820	1032952739
晋風（綜合文化雑誌）―「蟻の兵隊」たちのコミュニティ雑誌― 別冊	9784909680808	¥3,410	¥5,115	1032952740

MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社学術情報ソリューション事業部 Maruzen eBook Library 担当
Tel：03-6367-6008　Fax:03-6367-6188　e-mail:melinfo@maruzen.co.jp
営業時間：9：00 ～ 17：00（土・日・祝日、年末年始を除く）